

韓国・東西大学 (2026 年 3 月～6 月分)

韓国の東西大学(동서대학교)に 1 年間交換留学中の、経営学部の峯村です。

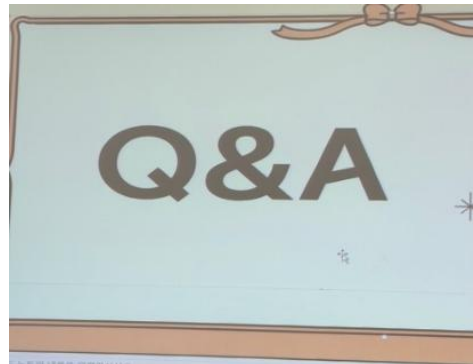
今回は 2026 年 3 月から 6 月までの 1 学期の出来事を共有します。半年間韓国で過ごした日々は新しい経験の連続で、充実した時間を過ごすことができました。



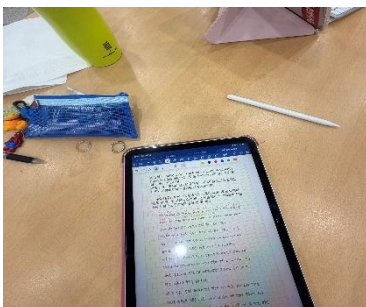
韓国は、日本から飛行機で 2 時間半と比較的近い距離にあります。日本と同じような気候であり、時差もなく比較的過ごしやすかったです。私が留学中の東西大学は、釜山にあり、日本の都道府県で表すと、福岡県が近いと感じました。釜山は海が近く、グルメや買い物が充実しており、自然と都会が融合しているような場所です。

{オリエンテーション}

3 月から授業が始まるため、2 月の後半から渡韓し説明会を受けました。アジア圏だけではなくヨーロッパや南米の交換留学生が説明会に参加していました。そのため、説明会は英語で進行されるため、少し大変でした。しかし、この会を通して履修登録方法や寮のルール、外国人登録書の作り方などを教えていただきました。



{授業について}



週に 4 日、1 日あたり 5 時間程度で 17 単位分履修していました。留学生向けの授業と在学生の授業、両方とも履修できるため 4 対 6 の割合で受講しました。留学生向けの授業では近況のニュースの題材に韓国語を学ぶ授業を履修しました。在学生との授業では、韓国文化や現代社会メディアを学びました。どの授業も多くのグループワークや個人発表、課題などがあり充実した生活を送れました。

{寮生活について}

大学の敷地内にある国際生活館Ⅱ（국제생활관Ⅱ）で生活をしています。一部屋あたり、2人で私は同じタイミングに交換留学に来た日本人の女の子と同部屋でした。部屋の設備はシンプルで、二段ベッドに水回り、各自収納スペースと机があります。冷蔵庫や洗濯機といった電化製品は共有スペースにまとめて置いてあります。調理をする際には共有スペースに行き、多くの寮生が利用するキッチンを利用するため、私やルームメイトはコンビニを利用または配達サービス(배달의민족)で食事をするのがほとんどでした。しかしウォーターサーバーだけは各階に設置してあるため、水分補給には困りませんでした。



{イベント}



春学期には多くの行事が開催されます。体育大会や音楽発表(버스킹)があります、その中でも私が一番記憶に残っているものは、学祭です。日本と同じようにサークルごとや学部ごとの屋台や出し物もありますが、多くのフードトラックが出店をし、夕方にはアーティストを呼んでライブを行います。今年は、イ・ヨンジ(이영지)と kiss of life(키스오브라이프)が出演していました。多くの学生が学祭に参加しており熱気を感じました。

{半年間留学をしてみて}

4年間の大学生活の中の1年間を使い留学に行くことは私の中で大きな決断でした。国同士は近くても海外は海外です。私にとっての常識や知識が通用しないことも多くあります。もちろん言語も異なるため、私の伝えたいことが100%相手に伝えることは難しく、もどかしい気持ちにもなります。しかし自立心やメンタルを鍛えることができ、旅行ではなく生活してみないとわからなかった、リアルな韓国を体験することができています。残り半年も後悔の無いように毎日を大切にしたいです。